氏名	有竹清夏	部署	健康開発学科	職名	准教授				
研究分野	臨床生理学, 睡眠学, 時間生物学								
学位	博士(保健学)								
学歴	2000年東京医科歯科大学医学部保健衛生学科卒業,2003年東京医科歯科大学大学院保健衛生学研究科博士前期課程修								
一座	了,2006年東京医科歯科大学大学院保健衛生学研究科博士後期課程修了								
	2000年日本大学医学部副手, 2001年国立精神・神経センター精神保健研究所/病院 研究員, 臨床検査技師, 2010年日本								
経歴	学術振興会特別研究員PD, 2012年ハーバード大学医学部/ブリガム&ウィメンズ病院リサーチフェロー, 2013年早稲田								
和主角的	大学スポーツ科学学術院助教,2017年東京大学大学院教育学研究科特任助教,2017年埼玉県立大学健康開発学科准教								
	授								
	日本睡眠学会(評議員,国際機関誌編集委員),日本時間生物学会(評議員),日本PSG研究会(幹事),日本臨床神経								
所属学会(役職)	生理学会, 日本臨床衛生検査技師会, 日本臨床検査学教育学会, American Association of Sleep Technologist (AAST),								
	American Academy of Sleep Medicine (AASM), National Sleep Foundation (NSF)								

【2021年度実績】

[2	【2021年度実績】							
1. 研究業績								
(1) 著作							
	著作の名称	単・共	ISBN	発行所、全ページ	ジ数	著者、編者名	発行等年月	
1	該当なし							
(:	2)論文							
1	これからの睡眠医療における検査技師教 育の在り方一海外の状況を踏まえて一.	共著	あり	睡眠医療15(1):115-1	19.	有竹清夏.	2021.3	
2	Association of subjective quality and quantity of sleep with quality of life among a general population.	共著	あり	International Journal Environmental Resea and Public Health. 18(23):12835.		Matsui K, Yoshiike T, Nagao K, Utusmi T, Tsuru A, Otsuki R, Ayabe N, Hazumi M, Suzuki M , Saitoh K, <u>Aritake-Okada, S,</u> Inoue Y, Kuriyama K.	2021.12	
3	Mortality associated with nonrestorative short sleep or nonrestorative long time-in-bed in middle-aged and older adults.	共著	あり	Sci Rep. 2022 Jan 7;12(1):189		Yoshiike T, Utsumi T, Matsui K, Nagao K, Saitoh K, Otsuki R, <u>Aritake-Okada S</u> , Suzuki M, Kuriyama K.	2022.1	
4	Associations of nonrestorative sleep and insomnia symptoms with incident depressive symptoms over 1–2 years: longitudinal results from the Hispanic Community Health Study/Study of Latinos and Sueño Ancillary Study.	共著	あり	Depression & Anxiety. (in press)		Saitoh K, Yoshiike T, Kaneko Y, Utsumi T, Matsui K, Nagao K, Otsuki R <u>, Aritake S</u> , Kadotani H, Kuriyama K, Suzuki M.	2022.3	
(:	3) 学会発表							
	学会発表の演題 単・共		学	会名、開催都市		発表者(発表者は○印)	発表等年月	
1	一般成人における睡眠休養感の関連因子 とその位置づけ	共同		第46回日本睡眠学会定期学 太郎 術集会		太朗, 吉池卓也, 斎藤かおり, 松井健 内海智博, 大槻 怜, 河村葵, <u>有竹清</u> 木正泰, 栗山健一	2021.9	
2	睡眠による休養感の欠如と高血圧発症と の縦断的関連 一既存コホートデータ (HCHS/SOL)による検討一	共同		第46回日本睡眠学会定期学 		斎藤かおり, 吉池卓也, 金子宜之, 大槻 怜, 内海智博, 長尾賢太朗, 松井健太郎, <u>有竹</u> <u>清夏</u> , 角谷 寛, 栗山健一, 鈴木正泰		
3	【シンポジウム】睡眠時間の主観 - 客観 乖離と健康との関連	共同	第46回日本睡眠学会定期学郎, 術集会 道		内海智博, 吉池卓也, <u>有竹清夏</u> , 松井健太郎, 長尾賢太朗, 都留あゆみ, 大槻怜, 福水道郎, 山元健太朗1, 綾部直子, 羽澄恵, 斎藤かおり, 鈴木正泰, 栗山健一		2021.9	
4	主観的入眠潜時と睡眠構造・熱放散との関連.	共同	第2回日	日本睡眠検査学会学 飯島竜星,門岡あかり,菅原海莉,伏見も も,細江みずき, <u>有竹清夏</u> .		2021.11		

2022.3 1		【シンポジウム】子供の睡眠・生活	ラリズ								
放当なし 2	5			共同 20th日本発 		発育発達学会 	<u>有竹清夏.</u>		2022.3		
1 数当なし 2 競争的資金等の研究	((4) その他									
		名称		単・共	・共 発表場所等		発表者(発表者は〇印)		発表等年月		
一	1	該当なし									
文部科学会科学研究資補助金	2.										
1 (基盤B: KAKENHI 19K03348) 法の最適化		競争的資金等の名称			研3	究名	研究代表者・研究分担者の別	研	f究期間		
1 (基盤B: KAKENHI 19K03348) 法の最適化		文部科学省科学研究費補助金		高齢者	の不眠に対	する認知行動療					
ま	1				適化				現在		
ま		, ,		現代の	社会生活 <i>[</i>	広じた適切な睡					
第次の研究											
8の研究 13、数有業機	2	厚生労働科学研究費補助金(21FAC	0201)				研究分担者	2021.4-現在			
3. 教育業績						(O -5)(-5)(12)(m -5 / C					
(1) 講義 講義の名称 #1888 コマ数	3	数		00 00 H)	<i>7</i> 6						
# 理典能検査学 ○ 15	_										
1 生理機能検査学 I ○ 15		,	科目責任者	_	コマ数	柳東	(教育内容・方法等においてエキ)				
1 生理機能検査学 ○ 15 基礎および臨床に関する講義、定期試験作成・実施を行った. 2 生理機能検査学 ○ 8 2年次前期3.4.5限 15時間: 科目責任者として呼吸機能検査の講義、定試験作成・実施および非常勤講師の対応を行った. 3 生理機能検査学 ○ 8 3年次前期1.2.3限 15時間: 科目責任者として感受機能検査の講義、定試験作成・実施および非常勤講師の対応を行った. 4 生理機能検査学 ○ 15 3年次前期1.2.3限 30時間: 科目責任者として感受機能検査の講義、定訓験作成・実施および非常勤講師の対応を行った. 5 生理機能特論 ○ 8 4年次候服2 15時間: 科目責任者として生理機能全般に関する講義 定期記 作成・実施および非常勤講師の対応を行った。 6 臨床核査概論 1/8 1年次前期5限 2時間: 科目担当者として生理機能全般に関する講義 定期記 作成・実施および非常勤講師の対応を行った。 7 検査機器総論 1/15 1年次後期 2時間: 科目担当者として生理機能全般に関する講義 2月 1/15 2年次前期5限 2時間: 科目担当者として完殖学研究法を講義した。大学院博士前期課程1年次 6時間: 科目担当者として開義を行った。大学院博士後期課程1年次 8時間: 科目担当者として講義を行った。大学院博士後期課程1年次 8時間: 科目担当者として講義を行った。大学院博士後期課程1年次 8時間: 科目担当者として講義を行った。大学院博士後期課程1年次 8時間: 科目担当者として講義を行った。大学院博士後期課程1年次 8時間: 科目担当者として講義を行った。大学院博士後期課程1年次: 科目責任者。 2 検査総合演習 2/15 4年機能演習 ○ 30 2年次前期3.4.5限 30時間: 科目担当者として護康検査科目のうち生理機 接査学について総括を行った。 大学院博士前期課程1年次: 科目担当者として強策線 24年機能検査学実習		*1370 × 1111.			. ~	17-2-1	(#111114		電図などの		
2 生理機能検査学目 8 2年次前期3.4.5限 15時間:科目責任者として呼吸機能検査の講義、定試験作成・実施および非常勤論師の対応を行った。 3 生理機能検査学目 8 3年次前期1.2.3限 15時間:科目責任者として感覚機能検査の講義、定試験作成・実施および非常勤論師の対応を行った。 4 生理機能検査学目(画像検査学) 15 3年次前期1.2.3限 30時間:科目責任者として画像検査の講義、定訓練作成・実施および非常勤論師の対応を行った。 5 生理機能検査学目(画像検査学) 15 3年次前期1.2.3限 30時間:科目責任者として画像検査の講義、定訓練作成・実施および非常勤請節の対応を行った。 6 臨床検査概論 1/8 4年次後期2限 15時間:科目担当者として生理機能検査機能会議義した。 7 校査機器論 1/15 1年次後期7時間:科目担当者として医科学研究法を講義した。 9 生体情報評価学 3/15 大学院博士前期課程1年次6時間:科目担当者として医科学研究法を講義した。 10 医療科学研究流 4/15 大学院博士後期課程1年次76時間:科目担当者として講義を行った。 11 医療科学研究流 4/15 大学院博士後期課程1年次:科目責任者。 (2) 演習 一文数 標果(教育内容・方法等において工夫した点) 2 生理機能演習 1 2年次前期3.4.5限 30時間:科目責任者として建学実習の説明・実活を行った。 1 生理機能演習 2/15 2年次前期3.4.5限 30時間:科目責任者として臨床検査科目のうち生理機検査学について総括を行った。 2 検査総合演習 2/15 4年次機能2.3限 4時間:科目責任者として演習指導などを行った。 3 健康経験主義といて実習者を作成し、それを用いて学生に実習が認定してたためでした。 2/15 第年代書を作成し、それを用いて学生に実習を作成し、それを用いて学生に実習を作成し、それを用いて学生に実習を作った。 3 臨俸を書学実習 23 3年度期間・科目担当者として超声を止して、また監修を行った。 3年次後期の・対議を開発して、また監修を行った。また臨地実習受入施設の・活動を開発して、また配地実習受入が施設の・経験を行った。 3 臨俸を書学	1	生理機能検査学	0	15							
生理機能検査学 日											
3 生理機能検査学Ⅲ ○ 8	2	生理機能検査学	0	8							
試験作成・実施および非常勤講師の対応を行った。 3年次前期1.2.3限 30時間:科目責任者として画像検査の講義、定期記作成・実施および非常勤講師の対応を行った。 4年次後期2限 15時間:科目責任者として生理機能全般に関する講義 演習を行った。 4年次後期2限 15時間:科目担当者として生理機能全般に関する講義 演習を行った。 4年次後期2時間:科目担当者として生理機能検査機論を講義した。 1/15			_					能検査の)講義, 定期		
4 生理機能検査学 (画像検査学)	3	生理機能検査学Ⅲ	0	8		試験作成・実施お	sよび非常勤講師の対応を行った.				
作成・実施および非常勤講師の対応を行った。		1				3年次前期1.2.3限 30時間:科目責任者として画像検査の講義,定期試験					
5 性理機能特論	4	生埋機能検査字Ⅲ(画像検査字)	0	15		作成・実施および	「非常勤講師の対応を行った.				
演習を行った。 1/8	L	داـ TII الماد الم		0		4年次後期2限 15	時間:科目責任者として生理機能全	般に関	する講義・		
7 検査機器総論 1/15 1年次後期 2時間: 科目担当者として病院見学に帯同した. 8 医科学研究法 1/15 2年次前期5限 2時間: 科目担当者として医科学研究法を講義した. 9 生体情報評価学 3/15 大学院博士前期課程1年次 6時間: 科目担当者として講義を行った. 10 医療科学研究論 4/15 大学院博士後期課程1年次・8時間: 科目担当者として講義を行った. 11 医療科学研究演習 - 大学院博士後期課程1年次・科目責任者. (2) 演習 演習の名称	5	生埋機能符論	O	8		演習を行った.					
8 医科学研究法 1/15 2年次前期5限 2時間:科目担当者として医科学研究法を講義した。 9 生体情報評価学 3/15 大学院博士前期課程1年次 6時間:科目担当者として講義を行った。 10 医療科学研究論 4/15 大学院博士後期課程1年次 8時間:科目担当者として講義を行った。 11 医療科学研究演習 - 大学院博士後期課程1年次:科目責任者。 (2) 演習 運費化業別の名称 無国無性報 コマ数 概要(教育内容・方法等において工夫した点) 1 生理機能演習 2/15 2年次前期3.4.5限 30時間:科目責任者として生理学実習の説明・実活おび実習指導を行った。 2 検査総合演習目 2/15 4年次後期2.3限 4時間:科目担当者として臨床検査科目のうち生理機検査学について総括を行った。 3 健康福祉科学演習 - 大学院博士前期課程1年次:科目担当者として適関指導などを行った。 (3) 実習 学外実習:期間	6	臨床検査概論		1/8		1年次前期5限 2時間:科目担当者として生理機能検査概論を講義した.					
9 生体情報評価学 3/15 大学院博士前期課程1年次 6時間:科目担当者として講義を行った. 10 医療科学研究演習 4/15 大学院博士後期課程1年次 8時間:科目担当者として講義を行った. (2) 演習 - 大学院博士後期課程1年次:科目責任者. (2) 演習 - 大学院博士後期課程1年次:科目責任者. (2) 演習 - 大学院博士後期課程1年次:科目責任者として生理学実習の説明・実活まび実習指導を行い、非常勤講師の対応を行った. 2 検査総合演習 2/15 2/15 4年次後期2.3限 4時間:科目担当者として臨床検査科目のうち生理機検査学について総括を行った. (3) 実習 - 大学院博士前期課程1年次:科目担当者として演習指導などを行った (3) 実習 学外実習:期間学内実習:期間学内実習:コマ教 標要(教育内容・方法等において工夫した点) 1 生理機能検査学実習 ○ 23 3年次前期1.2.3限 45時間:科目責任者として循環器、脳神経、呼吸機の検査項目9種類について実習書を作成し、それを用いて学生に実習指導を行った。 2 画像検査学実習 ○ 23 3年次後期3.4.5限 45時間:科目責任者として超音波画像、感覚機能の表項目種類について実習書を作成し、それを用いて学生に実習指導を行った。 3 臨地実習 ○ 23 3 臨地実習 ○ 23 3 臨地実習 ○ 23 3 臨地実習 ○ 24 3 臨地実習 ○ 25 3 臨地実習 ○ 26 3 臨地実習 ○ 27	7	検査機器総論		1/15		1年次後期 2時間	: 科目担当者として病院見学に帯同	した.			
10 医療科学研究論	8	医科学研究法		1/15		2年次前期5限 2時	間:科目担当者として医科学研究	去を講義	した.		
大学院博士後期課程1年次:科目責任者.											
(2) 演習 演習の名称 ## ## コマ数 概要 (教育内容・方法等において工夫した点) 1 生理機能演習 ○ 30 2年次前期3.4.5限 30時間: 科目責任者として生理学実習の説明・実) および実習指導を行い、非常勤講師の対応を行った. 2 検査総合演習 2/15 4年次後期2.3限 4時間: 科目担当者として臨床検査科目のうち生理機 検査学について総括を行った. 3 健康福祉科学演習 - 大学院博士前期課程1年次: 科目担当者として演習指導などを行った (3) 実習 学外実習: 期間 学内実習: コマ数 概要 (教育内容・方法等において工夫した点) 1 生理機能検査学実習 ○ 23 3年次前期1.2.3限 45時間: 科目責任者として循環器, 脳神経, 呼吸機 の検査項目9種類について実習書を作成し, それを用いて学生に実習打造を行った。 3 年次後期3.4.5限 45時間: 科目責任者として超音波画像, 感覚機能の 直項目種類について実習書を作成し, それを用いて学生に実習打導を行った。 3 年次後期 45時間: 科目担当者として3年次学生の臨地実習受入施設の の訪問・対応, 学生対応などを行った。また臨地実習担当として学生の の訪問・対応, 学生対応などを行った。また臨地実習担当として学生の 応施設配置や実習に関するガイダンスなど種々の指導を行った。 4 年次後期 4 日間: 科目担当者として4 年次学生のIPW実習受入施設へ 4 年次後期 4 日間: 科目担当者として4 年次学生のIPW実習可受入施設へ 5 日担当者として4 年次学生のIPW実習受入施設へ 5 日担当者として4 年次学生のIPW実習可受入施設へ 5 日担当者として4 年次学生のIPW実習可受入施設へ 5 日担当者として4 年次学生のIPW実習可会入施設へ 5 日担当者として4 年次学生のIPW実習可会入施設へ 5 日担当者として4 年次学生のIPW実習可会入施設へ 5 日担当者として4 年次学生のIPW実習可募の 5 年記録 5 日担当者として4 年次学生のIPW実習可会入施設へ 5 日担当者として4 年次学生のIPW実習可会入権設へ 5 日担当者として4 年次学生のIPW実習可会入 6 日担当者として4 年次学生のIPW実習可会入 6 日担当者として4 年次学生のIPW実習可会入 6 日担当者として4 年次学生のIPW実習可会入 6 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日				4/15				講義を行	うった.		
演習の名称			0		-	大字院博士後期課程1年次:科目責任者.					
1 生理機能演習 30 2年次前期3.4.5限 30時間:科目責任者として生理学実習の説明・実活まび実習指導を行い、非常勤講師の対応を行った。 2 検査総合演習 II 2/15 4年次後期2.3限 4時間:科目担当者として臨床検査科目のうち生理機検査学について総括を行った。 3 健康福祉科学演習 - 大学院博士前期課程1年次:科目担当者として演習指導などを行った。 (3) 実習 学外実習:期間学内実習:コマ数学内実習:コマ数学内実習:コマ数学の検査項目9種類について実習書を作成し、それを用いて学生に実習指導を行った。 1 生理機能検査学実習 23 3年次後期3.4.5限 45時間:科目責任者として超音波画像、感覚機能のを行った。 2 画像検査学実習 23 3年次後期3.4.5限 45時間:科目責任者として超音波画像、感覚機能の方った。 3 年次後期3.4.5限 45時間:科目担当者として超音波画像、感覚機能の方った。 3年次後期45時間:科目担当者として3年次学生の臨地実習受入施設の訪問・対応、学生対応などを行った。また臨地実習担当として学生の流流を行った。 3 臨地実習 2021.12-2022.3 の訪問・対応、学生対応などを行った。また臨地実習担当として学生の活動を行った。 4 年次後期 4日間:科目知当者として4年の評別学習受入施設の訪問・対応、学生対応などを行った。また臨地実習可入施設の訪問・対応、学生対応などを行った。また臨地実習可入施設の記述を記述を記述を記述を行った。	(2)演習									
1 生理機能演習 ○ 30 および実習指導を行い、非常勤講師の対応を行った. 2 検査総合演習Ⅱ 2/15 4年次後期2.3限 4時間: 科目担当者として臨床検査科目のうち生理機検査学について総括を行った. 3 健康福祉科学演習 - 大学院博士前期課程1年次:科目担当者として演習指導などを行った (3) 実習 学外実習:期間 学内実習:コマ数 概要(教育内容・方法等において工夫した点)学の実習:コマ数 1 生理機能検査学実習 ○ 23 3年次前期1.2.3限 45時間:科目責任者として循環器,脳神経,呼吸機の検査項目9種類について実習書を作成し、それを用いて学生に実習指導を行った。 2 画像検査学実習 ○ 23 査項目種類について実習書を作成し、それを用いて学生に実習指導を行った。 3 臨地実習 2021.12-2022.3 の訪問・対応、学生対応などを行った。また臨地実習担当として学生の院施設配置や実習に関するガイダンスなど種々の指導を行った。 4 年次後期 4日間:科目担当者として4年次学生のIPW実習受入施設へ		演習の名称	科目責任者	Ξ	マ数	概要	(教育内容・方法等において工夫し	た点)			
および実習指導を行い、非常勤講師の対応を行った。 2/15 2/15 4年次後期2.3限 4時間: 科目担当者として臨床検査科目のうち生理機検査学について総括を行った。 3 健康福祉科学演習 - 大学院博士前期課程1年次: 科目担当者として演習指導などを行った。 (3) 実習 デート・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	1	牛理機能演習	0	30		2年次前期3.4.5限 30時間:科目責任者として生理学実習の説明・実演					
2 検査総合演習 2/15 検査学について総括を行った. 3 健康福祉科学演習 大学院博士前期課程1年次:科目担当者として演習指導などを行った。 (3) 実習 学外実習:期間			Ĭ	-			,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,		1 d 10: 11		
検査学について総括を行った。 3 健康福祉科学演習	2	検査総合演習Ⅱ		2/15				4日のう	ち生埋機能		
実習の名称	_	净年行打机光中四						(2苦土. 1 *	+ /- L		
実習の名称 学外実習:期間	_				-	人子阮博士則期認	★住1年次・科日担当者として演習指	- 學など	を打つた.		
大田東任本 学内実習:コマ数 機要(教育内容・方法等において工夫した点) 学内実習:コマ数 3年次前期1.2.3限 45時間:科目責任者として循環器, 脳神経, 呼吸機に の検査項目9種類について実習書を作成し, それを用いて学生に実習打を行った. 3年次後期3.4.5限 45時間:科目責任者として超音波画像, 感覚機能の	() 天白		学为日	2辺・押門						
3年次前期1.2.3限 45時間:科目責任者として循環器,脳神経,呼吸機1 生理機能検査学実習		実習の名称	科目責任者			概要	(教育内容・方法等において工夫し	た点)			
 1 生理機能検査学実習 ○ 23 の検査項目9種類について実習書を作成し、それを用いて学生に実習技を行った。 3 年次後期3.4.5限 45時間:科目責任者として超音波画像、感覚機能の査算目種類について実習書を作成し、それを用いて学生に実習指導を行った。 3 臨地実習 ○ 23				1112	_ · → · ×	3年次前期1.2.3限	45時間:科目責任者として循環器	. 脳神経	呼吸機能		
を行った. 3年次後期3.4.5限 45時間:科目責任者として超音波画像,感覚機能の 3年次後期3.4.5限 45時間:科目責任者として超音波画像,感覚機能の 査項目種類について実習書を作成し,それを用いて学生に実習指導を 行った. 3年次後期 45時間:科目担当者として3年次学生の臨地実習受入施設 の訪問・対応,学生対応などを行った.また臨地実習担当として学生の 院施設配置や実習に関するガイダンスなど種々の指導を行った. 4年次後期 4日間:科目担当者として4年次学生のIPW実習受入施設へ											
2 画像検査学実習	_										
2 画像検査学実習 ○ 23 査項目種類について実習書を作成し、それを用いて学生に実習指導を 行った. 3年次後期 45時間:科目担当者として3年次学生の臨地実習受入施設 の訪問・対応、学生対応などを行った。また臨地実習担当として学生の 院施設配置や実習に関するガイダンスなど種々の指導を行った。 4年次後期 4日間:科目担当者として4年次学生のIPW実習受入施設へ									覚機能の検		
3年次後期 45時間:科目担当者として3年次学生の臨地実習受入施設 3 臨地実習 2021.12-2022.3 の訪問・対応, 学生対応などを行った. また臨地実習担当として学生の院施設配置や実習に関するガイダンスなど種々の指導を行った. 4年次後期 4日間:科目担当者として4年次学生のIPW実習受入施設へ	2	画像検査学実習	0	23							
3 臨地実習 2021.12-2022.3 の訪問・対応, 学生対応などを行った. また臨地実習担当として学生の院施設配置や実習に関するガイダンスなど種々の指導を行った. 4年次後期 4日間: 科目担当者として4年次学生のIPW実習受入施設へ						行った.					
院施設配置や実習に関するガイダンスなど種々の指導を行った. 4年次後期4日間:科目担当者として4年次学生のIPW実習受入施設へ				2021.12-2022.3		3年次後期 45時間	引:科目担当者として3年次学生の臨	地実習	受入施設へ		
4年次後期 4日間:科目担当者として4年次学生のIPW実習受入施設へ	3	臨地実習				の訪問・対応, 学生対応などを行った. また臨地実習担当として学生の病					
4年次後期 4日間:科目担当者として4年次学生のIPW実習受入施設へ			<u> </u>			院施設配置や実習	『に関するガイダンスなど種々の指	<u> </u>	た		
	/1	IPW実習		2021.8		4年次後期 4日間	: 科目担当者として4年次学生のIP\	W実習受	入施設への		
4 II W 大日 お問・対応, 学生対応などを行った.	Ľ	八日				訪問・対応, 学生対応などを行った.					

(4	(4)論文指導									
		対象	主指導・副指導の別及び指導人数							
1	卒業論文			2021.4~2022.12	主指導 4名 副指導			名		
2	修士論文			2021.4~2022.3	主指導(指導教員)	2名	副指導(指	(導補助教員)	名	
3	修士論文			2021.4~2022.3		名	副指導	(副査)	1名	
5	博士論文			2021.4~2022.3		名	副指導	(副査)	1名	
(!	5) その他									
		名称								
1	東京医科歯科	大学医学部保健衛生学	2021.4-2022.3	3年次生理検査学Ⅱ:非常	営勤講師として	生理検査	学の講義を	担当した.		
	社会貢献活動									
(-	「修会、公開講座等の								
		修会、公開講座等の	名称	主催	講演、研修	開催年月				
	埼玉未来大学				楽しく脳力アップ (睡眠				2021.6	
	埼玉未来大学				楽しく脳力アップ(睡眠				2021.6	
3	埼玉未来大学	川越学園 後期		公益財団法人 いきいき埼玉	楽しく脳力アップ(睡眠		↑日 + I I	、睡眠のと	2021.11	
4	越谷市立平方	中学校 学校保健委員会		睡眠健康推進機構	睡眠のメカニズム、健康 りかた	をに与える影響、	・望ましい	、睡眠のと	2021.10	
5	越谷市立増林	小学校		睡眠健康推進機構	睡眠の大切さ				2022.1	
				埼玉県立大学研	 高校出張講座 勉強や運動のパフォーマンスを上げる					
6	県立杉戸農業	高等学校		究・地域産学連 携担当	のコツ				2022.3	
()	2)国、自治体	、学術団体等におけ								
	-	国、自治体、学術団化			委員等の名称				任期	
1	日本睡眠学会			**	2.7.1			2007.	7-	
-	日本睡眠学会				生涯教育セミナー作業部会委員 2			2007.	2007.7-	
-	日本睡眠学会								2016.7-	
<u> </u>					国際機関誌編集委員会			2016.		
5	4 日本睡眠学会 5 日本時間生物学会				四际(成因:n) / / / / / / / / / / / / / / / / / / /			2010.		
Ļ	日本PSG研究:				≮ ₽ ■ (2021 C	\	2010.			
-					幹事,学術交流委員会副	安貝技(2021.0-	-)			
	日本睡眠検査				評議員	= (0001)		2020.		
_	日本睡眠検査				学術交流委員会 副委員長	₹ (2021-)		2020.		
<u> </u>	日本睡眠検査				学術企画委員会			2020.		
	日本睡眠検査				精度管理委員会			2020.	9-	
(.	3) ジャーナリ	ディア等の名称							年月	
1	プレスリリー			睡眠仕善咸がわれ	『を握る:健康維持・増進	*に公立へ発却	金阳长梅 /	り目念	2022.2	
	産経新聞埼玉			睡眠の質は「休養		三に1又立 フ村 別	世 既 11 信 い	7用光	2022.2	
	/生性机用和工/	IX.			遠記」で及るる 時間"だけではない?"休剤	≸感"がないとる	E亡リスク	増…睡眠	2022.5	
3	フジテレビプ	ライムオンライン			が掛けを研究者に聞いた				2022.3	
ľ	,,,,,,,,	, , _ , , , , ,			.jp/articles/-/333809				2022.0	
(,	4) その他				.jp/ artiolog/ / 000000				1	
	項目	相手方等							期間	
1		製薬会社		臨床試験に関する	* 1			2019.		
_										
	3 産業支援 武田薬品工業株式会社 臨床試験に関する						2020.			
	4 產業支援 花王株式会社 共同研究							2021.		
5.	学内運営							1		
		項目		内容				期間		
1	1 全学的委員会及びセンター業務等 奨励研究部会			2020			4-			
2	2 学科等における委員会等 臨地実習担当			2018			2018.	4		
3	3 学科等における委員会等 大学院教務担当,大学院博			博士後期課程設置ワーキンググループ 2018.			4-			
4	4 学科等における委員会等 将来構想検討ワーキング			゛グループ			2019.	8-		
5	5 学生支援 学生担任教員(2年),				担当アドバイザー, 学習及び	進路などの相談	・支援	2018.	4-	

6.	受賞(研究、教育、社会貢献活動に関するもの)		
	受賞名	主催	受賞年月
1	該当なし		
7.	特許の取得		
	特許名	特許番号	登録年月
1	該当なし		
8.	特記事項		
1	該当なし		